

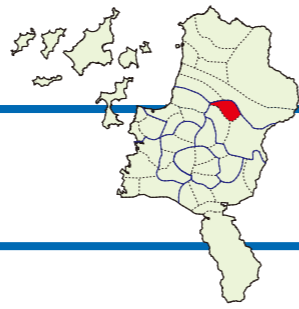
ごみょう

五明地区

面積：17.04 km²

人口：493 人（高齢化率 47.5%）

世帯数：259 世帯

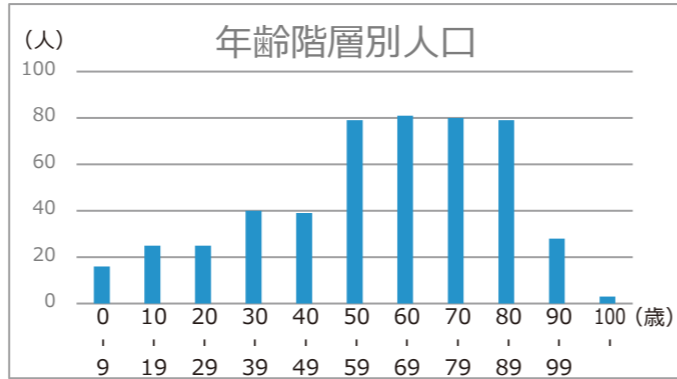


【地区の特色】

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高 300m の中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩^{かこうがん}土壌と昼夜の温度差がある立地条件を生かし、古くからぶどう栽培に取り組んでいる。また、伊予万歳などの芸能文化の振興を盛んに行っている。地区内には源氏ホテルが自然発生する「五明川」が流れており、地域が一体となって「ふるさとの自然と文化の継承」に努めている。



五明小学校児童による伊予万歳



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 顔見知りが多く、どこの誰だか把握できる ・ 家庭内の事情がある程度わかる 個人でゴミ捨てや買い物の助け合いをしている 移動スーパーが来る 車での通勤、通学時間は混雑も少なく 20 分～30 分で市内中心部へ行ける 自然が豊かで季節を肌で感じることができる 食べ物（タケノコ、ブドウなど）がおいしい 自主防災と連携し災害時の避難の仕組みを作っている 地域おこし協力隊がホームページ等で地域の広報活動をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢世帯や独居世帯が増えた 子どもが少ない 若い人が街へ出てしまう 交通の便が悪く、通院、買い物が不便 利用者数減によるバスの便数の減少 イノシシ、シカ、サルによる作物被害 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化と少子化（児童減少で小学校の存続が心配） 交通の便が悪い ・ 免許証を返納すると外出が困難 金融機関が遠い ・ 店が少ない ・ 坂道が多い 空き家、空き地も多くそうじが行き届いてない、活用出来ていない、危険 災害時の危険箇所が多い 高齢者の地域の役が多い ・ 後継者不足 在宅で生活し続けることが難しい

五明地区社会福祉協議会

人が好き 自然が好き 五明が大好き

構成団体	地区民協・区長会・まちづくり協議会
主な取り組み	活動内容
シクラメン配布	毎年 12 月に五明苑の入所者と在宅の 75 歳以上独居高齢者、90 歳以上の高齢者世帯を訪問し、シクラメンをプレゼントしています。
五明小マラソン大会	毎年 2 月に開催されるマラソン大会に様々な団体が参加協力し、見守り活動を行っています。
夏休み大清掃	小学生が気持ちよく二学期を迎えることができるよう、通学路および小学校周辺を地域の方で清掃しています。

お米作り体験学習

福祉学習事業の一環として、公民館、PTA、民生委員・児童委員と連携し、田植えから稲刈り、もちつき、しめ縄作りまでの各種農作業を通して児童の教育と地域の幼稚園児から高齢者までの交流を支援しています。



<地区社協が目指すもの>

五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、敬老会、さくらまつり、ほたるまつり、盆踊り大会、地区運動会、しめ縄づくり、もちつき、ふる里まつりなどの地域行事と並行した社協活動の実施を基本方針としています。

今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の強化を目指していくものとします。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	6名 2名	■町内会・自治会・区長会等	6団体
	■まち協の設立	平成 23 年度	■高齢クラブ	0 クラブ
		■子ども会	0 団体	
		■自主防災組織	5 組織	

五明地区の活動の魅力は、「地域愛を核とした互助」と「地区の文化や伝統の継承をとおした世代を超えたつながり」です。山間部ということで人口が少なく、交通の不便さがありますが、高齢になっても五明に住み続けていたいという思いを住民同士が理解しあう中で助け合いが実現しています。また、地区内の関係団体が協力し合うことで、季節ごとの伝統行事等の多くが伝承され、お互いが顔の分かる関係ができています。地域おこし協力隊やまちづくり協議会などの広報活動によって、タイムリーに住民のエネルギーを発信していることも魅力的です。人生を楽しみながら安心して住み続けられる地域へと着実に歩みを進めている地区だといえるでしょう。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

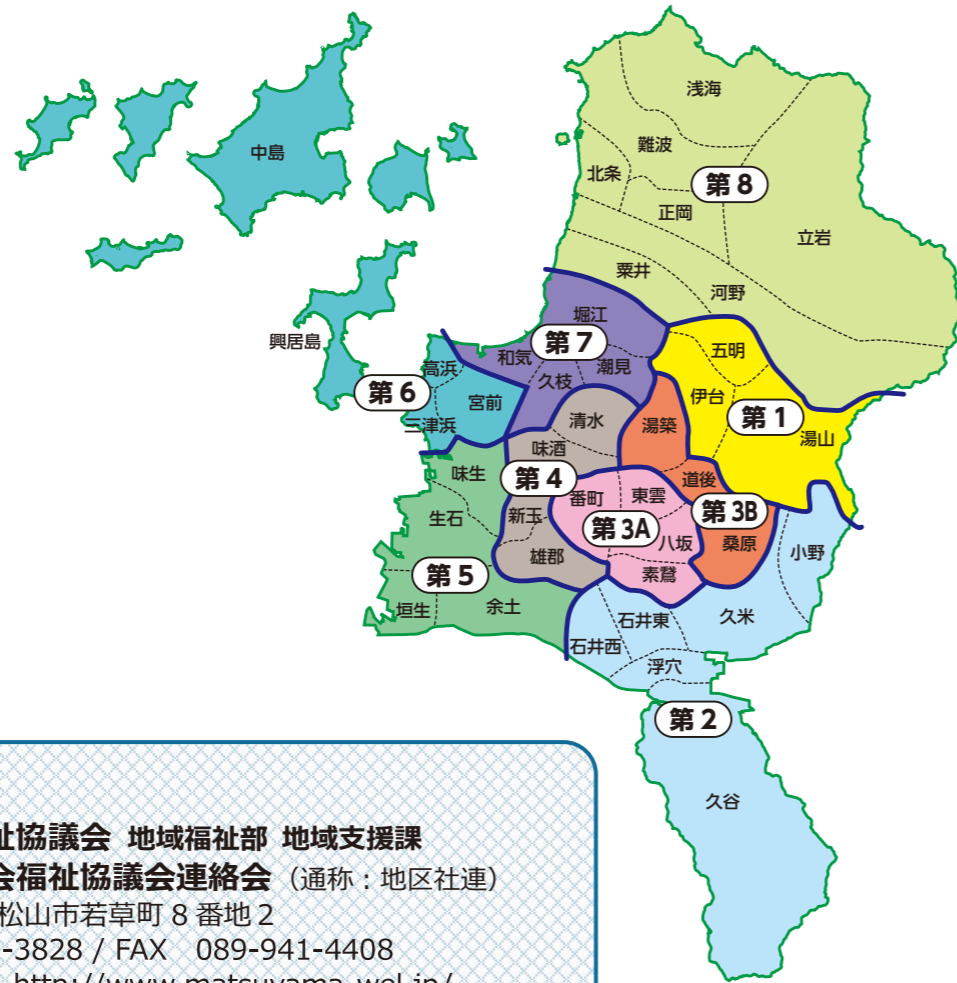
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏